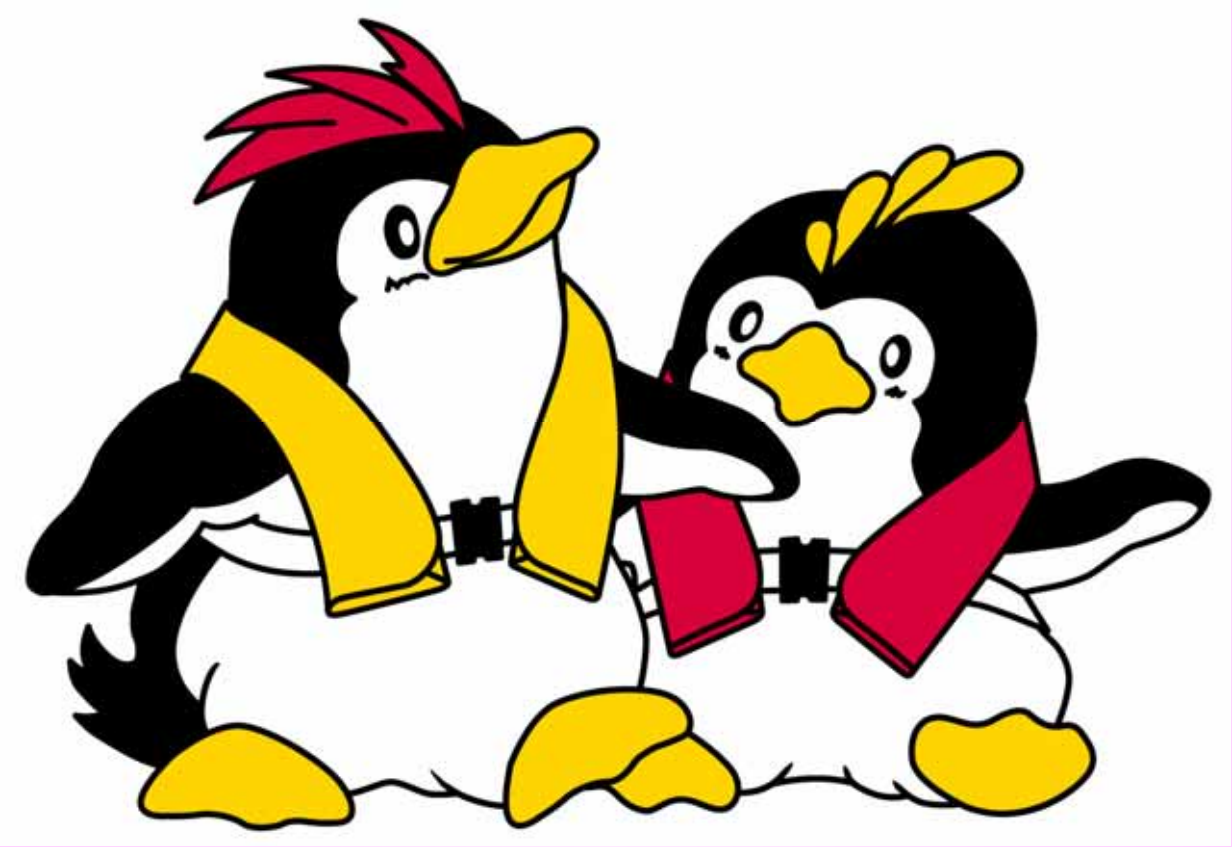
小型船舶用膨脹式救命胴衣
「保守・点検」マニュアル



日本小型船舶検査機構

はじめに

この「小型船舶用膨脹式救命胴衣の保守・点検マニュアル」には、小型船舶用膨脹式救命胴衣（小型船舶用救命胴衣の要件に適合した作業用救命衣を含む。以下「膨脹式救命胴衣」という。）の基本的な保守・点検方法について記載しています。

この他にもメーカーが型式毎に定めた詳細な保守・点検方法がありますので、「**メーカーの取扱説明書**」でご確認ください。

また、異常が発見された場合は、着用せずにメーカー等にご相談ください。

１．膨脹式救命胴衣の種類・構造等について

膨脹式救命胴衣の種類及び各部の名称

①：気室　②：膨脹装置　③：作動索　④：補助送気管　⑤：再帰反射材　⑥：笛

２．膨脹式救命胴衣の保守・点検等について

メーカーの取扱説明書に従って「**定期点検**」を必ず実施し、さらに次のような点に注意し日常点検を心がけましょう。

（１）着用前の注意事項

首かけタイプ

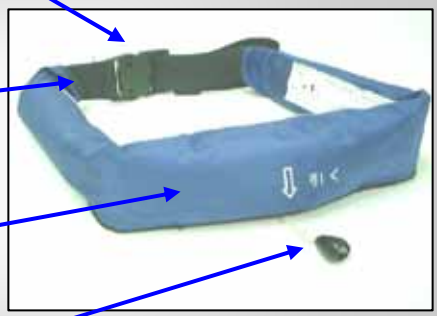
- 本体又は付属品の縫製糸がほつれたり、切れたりしていませんか？
- 気室布が破損していませんか？
- ベルトが破損していませんか？
- バックルが破損していませんか？
- 作動索は外に出ていますか？

胴衣本体の主な点検個所

ポーチタイプ

- バックルが破損していませんか？
- ベルトが破損していませんか？
- カバー布が破損していませんか？
- 作動索は外に出ていますか？

ベルトタイプ



作動索を絶対に膨脹式救命胴衣本体内部に格納しないでください。

自動膨脹装置の主な点検個所

ガスボンベ

ボンベが確実に取りつけられていますか？

一度使用したガスボンベは再使用できません。

金属部

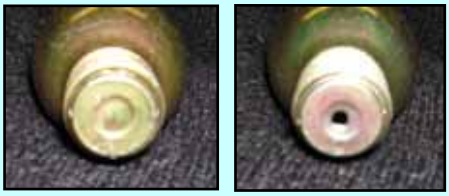
金属部が指で触れますか？

作動前　　作動後

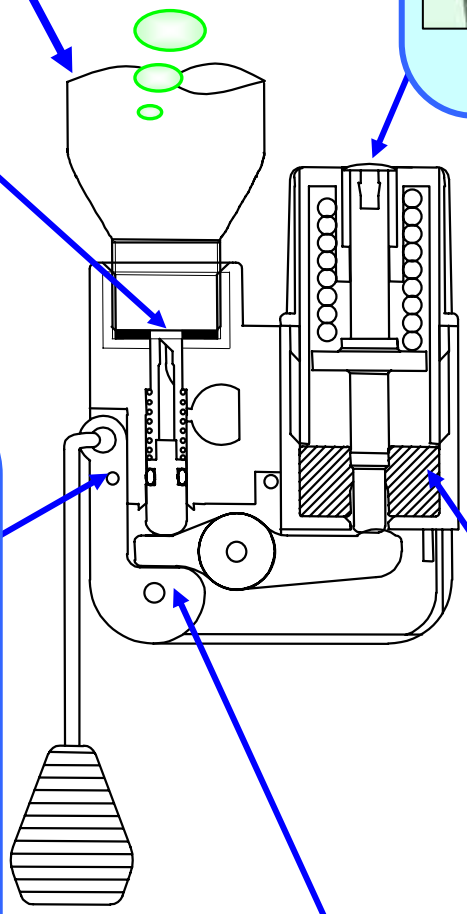
指で触れないくらい中に入っている場合は膨脹装置が作動しています。

ガスボンベ封板

ガスボンベの封板が破れていませんか？

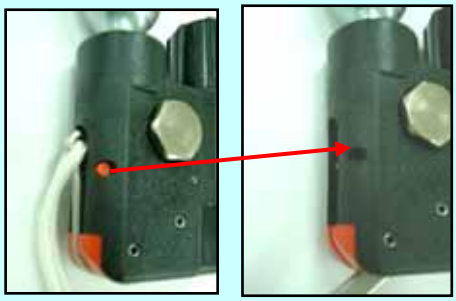


作動前　　作動後



安全ピン（シール）

安全ピン（シール）はついていますか？



作動前　　作動後

スプール

交換時期は過ぎていませんか？

スプール

手動レバー

手動レバーが正しい位置にありますか？

作動前　　作動後

手動膨脹装置の主な点検個所

一度使用したガスボンベは再使用できません。

ガスボンベ

ボンベが確実に取りつけられていますか？

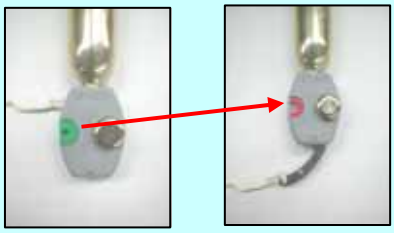
ガスボンベ封板

ガスボンベの封板が破れていませんか？

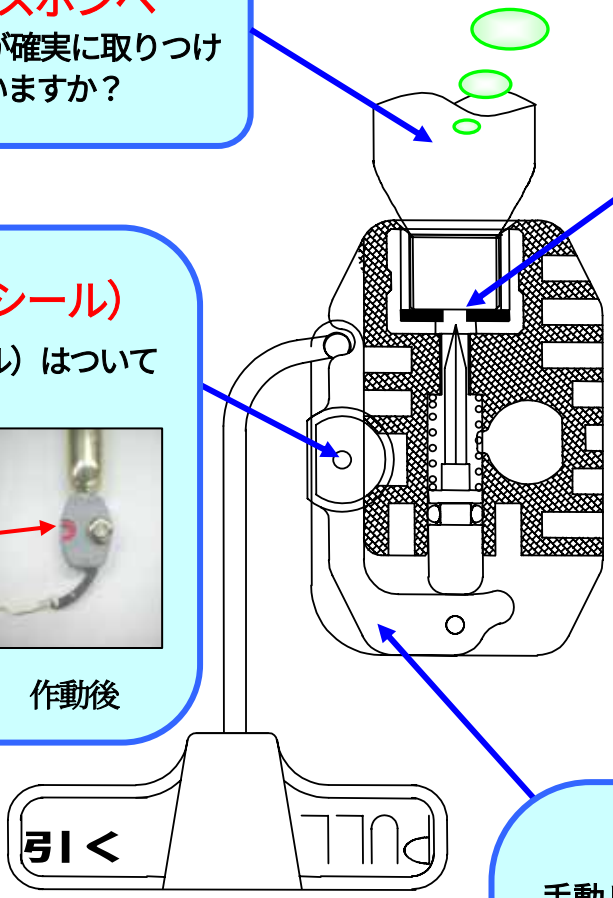
作動前　　作動後

安全ピン（シール）

安全ピン（シール）はついていますか？



作動前　　作動後



手動レバー

手動レバーが正しい位置にありますか？

作動前　　作動後

（2）交換が必要な場合

①　胴衣本体

次の事項が該当する場合は、新品に交換してください。

- 「気室布」又は「カバー布」の破損
- 「補助送気管」の破損
- 「胴衣本体」又は「付属品の縫製部」がホツレ、キレ
- 「ベルト」及び「バックル」の破損
- 「胴衣本体の色」の退色
- 「コーションラベル（注意書き）」の汚れ

②　膨脹装置

次の事項に該当する場合は、各部の交換を行ってください。

膨脹装置により胴衣を膨脹させた時	スプール（自動膨脹型のみ）、ガスボンベ等の交換
ガスボンベの封板が破れている時	ガスボンベの交換
交換時期が過ぎた時	スプール等の交換

「スプール」は経年劣化により膨脹装置の作動時間が長くなるため、定期的に交換してください。（環境条件によっては、さらに劣化の進行が早くなります。）

（3）保管上の注意事項

次の場所や状態で保管しないでください。

- **長時間直射日光が当たる場所**
- **高温多湿の場所**
- **海水、雨水の浸入しやすい場所**
- **膨脹式救命胴衣の上に重い物を置いた状態**
- **ねずみの害のある場所**

（4）その他の注意事項

☆気室布には絶対にエンブレム等を縫いつけないで！

膨脹時に縫合部よりガス漏れを起こし、使用不能の状態になります。

☆雨天時には注意！

雨脚が強いときには、胴衣内部に浸入した水分により自動膨脹装置が作動し、気室を膨脹させる恐れがあります。

☆折りたたみ方は正確に！

自動膨脹装置の作動の遅れや気室布等に傷が発生する恐れがあります。

☆膨脹した後は？

膨脹させ使用した後は、気室内部のガスを補助送気管より完全に抜いてください。（膨脹装置により膨脹させた場合は、スプール、ガスボンベ等の交換も忘れずに！）

JCI ホームページ　　http://www.jci.go.jp

平成 25 年 2 月作成